



たけはらのひ



2025.10
vol. **21**



竹原での暮らし

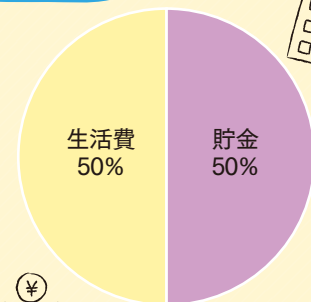
(雅子さん)

近くにスーパーがありますし、必要なものはネットでも購入もできるので、竹原で暮らして困ることはなく、生活しやすいと思っています。また、住んでいてとても落ち着きます。竹原に移住して良かったと思っています。

(博行さん)

竹原は、福井と違って雪が降らず、とても穏やかで住みやすいです。今の竹原の暮らしに満足しています。竹原にまだ少ない雑貨を今後扱っていききたいと、新しい目標も生まれています。

家計グラフ



山内 雅子さん・博行さんが働く café 根古屋とは

- 事業所名／café根古屋
- 設立／2022年3月
- 所在地／広島県竹原市本町四丁目3-46
- 代表者／山内 雅子
- 従業員数／2名
- 男女比／1：1
- 平均年齢／約59歳
- 業種／飲食業
- 事業内容／カフェ
- 求人職種／飲食店業：スタッフ（接客業務）
- 休日休暇／週休2日（カレンダーによって変動あり）
- 福利厚生／制服支給
まかない付き



Instagram

- わが社の魅力／
築135年の古民家をリノベーションした台湾のおやつや軽食が楽しめるカフェです。台湾旅行中に食べた「豆花（とうふぁ）」や「牛肉麵（にゅうろーめん）」などを提供しています。これから竹原へ移住・開業を考えている方に体験談を伝え、何かお役に立てるようにしたいです。



PROFILE

山内 博行さん

Hiroyuki Yamauchi

- 出身地／福井県
- 勤務先／café 根古屋
- 創業年／2022年3月
- 趣味／台湾旅行、雑貨・カフェ巡り

PROFILE

山内 雅子さん

Masako Yamauchi

- 出身地／奈良県
- 勤務先／café 根古屋
- 創業年／2022年3月
- 趣味／台湾旅行、カフェ巡り

町並み保存地区で
初めての飲食業に挑戦
こだわりの台湾料理を提供！
新たな目標にもトライしたい



Point

01

創業のきっかけは？



銀婚式で初めて台湾に行ってきた。人が優しく料理もおいしい台湾が大好きになり、その後もたびたび夫婦で台湾に旅行しました。「台湾料理を習ってみたい」と思うようになり、大阪の料理教室へ何度も通いました。当時福井で暮らしていましたが、府中市に住む私の親が気に入り、実家から1時間以内で通える地へ移住を決意。夫と「今までとは違う仕事をしよう」と話し合い、空き家バンクで物件を探したので竹原での創業につながっています。

Point

02

どんな仕事をしていますか？

私は料理を、夫はコーヒーを淹れたり接客をしたりしてくれます。お客様と台湾話で盛り上がり、台湾人の皆さんがわざわざ立ち寄ってくださったりもします。飲食業を営むのは初めてのことで、実際にやってみて大変さを実感しています。特に仕込みがとても大変で、お客様に来ていただかないと経営は成り立ちませんし、注文が多くないと閉店後は次の仕込みに追われます。休みの日も、買い出しをしたり仕込みをしたりと、フル回転です。



私は料理を、
夫はコーヒーを
淹れたり接客

Point

03

どんなことにやりがいを感じますか？



一番はお客様との出会いです。夫はかつて仕事で一般の方と関わる機会はありませんでしたが、今は「毎日が全く知らないお客様との出会いで、それがとても楽しい」と言っています。台湾をお好きなお客様も多いので、店で仲良くなって一緒に

旅行に行ったこともあります。2024 年は2回、お客様と台湾に旅行に行きました。私たちは福井から竹原に来て、知り合いゼロからスタートしていますので、店で知り合いが増えていくのが喜びです。

Point

04

自分の成長を感じるときは？



福井に住んでいたときは町のことを考えることがなかったのですが、竹原は観光地ということもあり、「飲食業と観光のつながり」を意識するようになりました。もちろん自分たちの売り上げを考えないといけないのですが、町並み保存地区という場所で飲食店を営むということは、ゆっくり滞りて食事をしてもらうことになります。私たちは「食」を通じて、竹原の活性化やにぎわい創出にどう貢献できるかな、と考えるようになりました。

Point

05

今後の目標や夢を教えてください。

まずは体力が続く限り、この店を続けたいと思っています。福井にいたころは、夫は洋服の生地を作る仕事をしていたので、飲食業よりアパレルのほうが、馴染みが深いんです。今後は、町並み保存地区にまだ少ない雑貨やアパレルなども、ぜひ手掛けてみたいと思います。「何かやってみたい!」と思っている人は、早くやった方がいいと思います。竹原はまだまだ足りないものがありますからチャンスですよ。私たちの年齢でも、創業できたのですから。



カフェ根古屋は、こんな職場です！



雅子さん



博行さん

私の脳内

仕事

8割は仕事のこと
3割は食事のことなど



プライベート

8割は仕事（カフェ巡り、食べ歩きなども仕事のうち）
2割は日常生活のこと



雰囲気

この建物が好きで竹原での創業を決めたということもあり、和のテイストを生かしつつ、台湾を意識して内装は明るくしています。ナチュラルな空間を意識して、音楽も洋楽を流しています。

休日

月・火曜日が定休日です。買い出しや買い物の他、時間があればカフェ巡りをして店づくりの参考にしています。

福利厚生

制服支給

新規創業をお考えの方へ

竹原は小さなまちです。まだまだあなたがやれる余地がたくさんあります。悩んでいて時間を浪費するよりも、しっかり考えたうえで早く行動する事がベスト。失敗は早いうちであれば経験となり、さらにより良い方向に進んでいけるでしょう。一歩踏み出してください。

私の一日



06:00 起床
07:00 ~ 10:00 店内清掃、仕込み
10:00 ~ 17:00 店舗営業。閉店後、清掃や仕込み
19:00 食事、入浴
21:00 就寝

